



令和4年6月6日

## 令和4年度 第1回OPRTセミナー — マグロ資源の管理戦略評価（MSE）について —

一般社団法人 責任あるまぐろ漁業推進機構（OPRT）は、会員・賛助会員を対象として、標記セミナーを下記により対面とウェブのハイブリッド方式で開催します。

対面での参加については、正会員、水産庁、報道機関に限ることとし、ウェブでの参加については、正会員、賛助会員を優先して先着順とし、100名を上限として受け付けます。

申し込みは、参加方法を明記の上、6月15日（水）までにメールにてOPRT事務局（maguro@oprt.or.jp）まで。ウェブご希望の方には、6月17日（金）までに参加に必要な招待メールを送付します。

（一般の方は、OPRTの賛助会員へ加入登録を条件とします。年会費：個人千円、法人1万円）

### 記

1. 日 時： 令和4年（2022年）6月20日（月）14：00～16：00

2. 場 所： 大日本水産会 大会議室（三会堂ビル8階）及びウェブ

3. 開催方式： 上記会議室での講演をウェブにて配信  
※ライブ配信のみで、アーカイブによる配信は行いません。

4. 演題・講師：

（1）マグロ資源の管理戦略評価（Management Strategy Evaluation: MSE）について  
東京海洋大学 海洋生命科学部 教授 北門 利英 氏

（2）MSE に対する行政官及び業界の疑問  
当機構専務 太田 慎吾

5. 開催趣旨： マグロ資源のMSEについて、科学者に解説していただくとともに、これまで実際に行われてきているマグロ資源のMSEにおいて行政官及び業界関係者が感じてきた疑問点を科学者に投げかけ議論することにより、関係者の理解を深める。

6. 開催の背景：

MSE とは、ある資源の管理戦略を策定・実施するためのプロセスで、管理戦略とは、資源評価の手法、資源評価に使うデータの種類、資源状態に応じた管理措置（TAC 等）の決め方（漁獲制御ルール（Harvest Control Rule））等から成る資源管理のための枠組みです。

これまで地域漁業管理機関（RFMO）においては、数年ごとに行われる資源評価の結果に基づき TAC の水準等の管理措置を決定してきましたが、資源評価が更新されるたびにその結果が大きく変わって議論が混乱したり、各国の利害が対立して合意ができず、その間拘束力のある管理措置がとられないといったことが起こっていました。

管理戦略においては、あらかじめ決められた手続きにより、例えば TAC の場合、TAC 水準が自動的に計算されますので、RFMO は特別な理由がない限りそれを採用することを前もって合意しておき、管理措置が決められないといった事態を避けることが可能です。また、管理戦略に基

づく資源管理では、自然変動の可能性をあらかじめ想定し、継続的に入手される情報によって微調整する漁獲制御ルールにより、広範な不確実性を踏まえた長期的・安定的な管理が可能となり、漁業者の経営安定にも寄与します。

他方、管理措置が自動的に計算されることから、関係者がその仕組みについてあらかじめよく理解しておくことが必要です。このため、MSEにおいては、TAC水準、TACの安定性、資源崩壊の回避確率等の目標について関係者から意見を聴取し、それを踏まえて複数の管理戦略の案を関係者に示し、関係者の意見を踏まえて管理戦略案を絞っていき、最終的に一つの管理戦略を選択するという作業が行われます。

しかしながら、MSEは専門用語が多く、資源評価に関する知識がない方々が理解することは容易ではないことから、関係者、特に業界関係者のプロセスへの関与が難しいのも事実です。これを解決するために科学者やNGOが中心となってセミナー等の開催が行われていますが、科学者や管理を強化したいNGOの観点からのものが多く、行政官や漁業者の疑問に十分答えているとは言い難い状況です。

今回のセミナーは、このような問題意識に立ち、まず科学者の方にMSEについての一般的な説明を行って頂き、その後、行政官及び業界関係者が感じてきた疑問点を科学者に投げかけ議論をすることにより、関係者、特に業界関係者のMSEに対する理解を深め、今後のMSEへの積極的な参加を促すことを目的に開催されます。

(問合先) (一社) 責任あるまぐろ漁業推進機構 事務局長：千代 事業部長：人見  
TEL：03-6256-9138 Eメール：[maguro@opr.or.jp](mailto:maguro@opr.or.jp)

以上